

## 予算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年12月17日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年12月17日（金）午前10時23分
- 3 会議場所 議会協議会室
- 4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 佐藤 武君
7 番 佐々木雄司君	8 番 光成 良充君	9 番 保田 守君
10 番 大口 浩志君	11 番 治徳 義明君	12 番 原田 素代君
13 番 金谷 文則君	14 番 松田 勲君	15 番 福木 京子君
16 番 佐藤 武文君	17 番 下山 哲司君	
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者

市長 友實 武則君	副市長 前田 正之君
教育長 土井原康文君	総合政策部長 山本 幸治君
総務部長 入矢五和夫君	財務部長 作本 直美君
市民生活部長 杉原 洋二君	保健福祉部長 谷名 菜穂子君
産業振興部長 是松 誠君	建設事業部長 高橋 渉君
産業振興部政策監 兼建設事業部政策監 中山 教浩君	建設事業部参与兼 地域整備推進室長 小坂 憲広君
教育次長 有馬 唯常君	教育総務課長 金島 正樹君
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君	副参事 逢坂紀美子君
---------------	------------
- 8 審査又は調査事件について
  - 1) 議第66号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（松田 勲君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

まず初めに、換気のため、協議会室の出入口等については開けたまま進めさせていただきますので、御協力をお願いいたします。

それではまず初めに、友實市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、予算審査特別委員会をお開きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の委員会では、12月赤磐市定例議会に上程させていただいております一般会計の補正予算について御協議をいただくようになろうかと思えます。何とぞ慎重審査の上、適切な御決定をいただきますようお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託されました案件は、議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）であります。付託案件につきましては、各分科会に分担し、付託事件審査または調査が行われ、各分科会委員長報告が提出されておりますので、委員長報告を求めます。

それでは、議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について委員長報告を求めます。

総務分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動をお願いします。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会総務分科会に分担されました予算案1件について、総務分科会を開催し、慎重に審査をいたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）のうち、総務常任委員会所管部分について。

委員より、防災マップ作成事業について、市民の手元に配って終わりだともったいないと思うが、何回も手に取ってもらえる仕掛けは考えているのかとの質疑に、執行部は、地域に向向いて防災講座を行うとともに、活動補助金交付の対象となる設置届出をした自主防災組織の設置を働きかけ、各町内会での訓練や講座等について積極的に活用してもらえるよう啓発を考え

ているとの答弁。

委員より、コロナ禍で対面しての行事等が難しい中、配布する防災マップ自体に仕掛けをすることは考えていないのかとの質疑に、執行部は、提案についてはこれから考えていきたいとの答弁。

委員より、総務管理費の職員人件費について、職員数が5人も増えている理由はどの質疑に、執行部は、総合政策部、総務部、財務部の予算が主で、総務課やくらし安全課の防災機能の強化などに人を増やしたとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了いたしました。

以上をもちまして、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

委員長報告が終わりました。

これから総務分科会委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 御報告ありがとうございました。

2点教えていただきたいと思います。

まず、1点目、防災マップ絡みで、自主防災組織の設置を働きかけていくという執行部の御答弁だということなんです。この数字的なことは議論されてないのかどうか、現状とか今後の目標値、それをもしあれば教えてください。

2点目は、防災マップの活用の提案ということですが、例えば委員さんのほうからこんなふうにしたらどうかとか、もしくは執行部がこういうことまでは考えてるといって、そういうやり取り、具体的にこの提案についての意見のやり取りがあったかどうか、この2つを教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、お答えをしたいと思います。

まず、防災マップの現状、自主防災組織の現状ということでございますが、自主防災組織については執行部から常日頃から自主防災組織の働きかけのお願いがなされておりますけれども、具体的な現状の組織の数であるとか、そういうものは議論はございませんでした。

それから、防災マップの活用ということで、委員長報告の中にも入っておりますけれども、防災マップ自体に仕掛けをすることは考えていないのかということで委員のほうから指摘がございましたけれども、これについては他の自治体におきましては防災マップに番号等を振って、それでその番号を生かした後の取組を考えてはどうかというような提案がありました。こ

れについても、ここに書いておりますように、何回も手に取ってもらえるということが必要ではないかということの指摘があったというふうに理解しております。

以上です。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、総務分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

それでは、正副委員長は自席にお戻りください。

続きまして、厚生文教分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動をお願いいたします。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（光成長充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成長充君） 予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会厚生文教分科会に分担されました予算案1件について、厚生文教分科会を開催し、慎重に審査いたしました。その経過の主なものについて御報告いたします。

議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）のうち、厚生文教常任委員会所管部分について。

委員より、コミュニティ助成事業助成金について、追加要望を地区から受けるにあたり、採択されなかった地区はあるのかとの質疑に、執行部は、応募のあったものは全て採択されているとの答弁。

委員より、市内全地区の意向は確認しているのかとの質疑に、執行部は、各区長、町内会長に令和4年度に向けての募集とともに今回の追加募集の文書を送付し、意向を確認したところ、河本地区のみの応募だった、全地区の意向は確認できていると考えているとの答弁。

委員より、コミュニティ助成事業で採択される基準について説明をとる質疑に、執行部は、助成金額は10万円単位で100万円から250万円までで、コミュニティ活動に直接必要な設備に要する経費が対象となる、ただし基礎のある建物や消耗品にかかる経費は対象外になるとの答弁。

委員より、放課後児童クラブ補助金2,451万1,000円について、財源に国、県の補助金があるが、内訳はどうなっているのかとの質疑に、執行部は、国、県、市が各3分の1負担するので、それぞれ817万円であるとの答弁。

委員より、この金額は2クラブを新設することに対しての金額なのかとの質疑に、執行部は、そのとおりである、新設の場合は1クラブ当たり建物の改修に上限1,200万円の補助があ

り、2クラブ合計で2,400万円、また令和4年4月から開所予定のため、3月分の家賃が補助の対象となり、2クラブ合計で51万1,000円を計上しているとの答弁。

委員より、大変大きな金額である、現状のクラブと比較すると考えられない、きちんとした積算をしているのかとの質疑に、執行部は、適切に積算した金額である、内訳として建物の増改築、塗装等に約1,000万円、防犯カメラや火災報知器等に約50万円、その他エアコン、冷蔵庫、掃除機、本棚等の見積りをもらっており、1,200万円以上かかることから、補助上限額1,200万円で予算計上しているとの答弁。

委員より、既存のクラブが厳しい思いで運営している中、備品も含めて、塗装、監視カメラまで負担をするのは不公平である、他のクラブとの調整をするため、既存のクラブが求めていることをリサーチした上で、今回の新設についてバランスの取れる予算配分にしてほしい、そうでなければ、こんな突出した予算配分は到底認められないと思うがどうかとの質疑に、執行部は、国、県の補助要綱に基づき厳正に対応をしている、意見を踏まえて、再度精査した上で執行するとの答弁。

委員より、山陽東小学校の近くに2クラブできるが、桜が丘全体の各小学校の配置の中で場所等を検討したのかとの質疑に、執行部は、場所は桜が丘東4丁目、桜が丘中学校の斜め向かいのあたりで、桜が丘小学校もそれほど遠くなく、山陽北小学校も通えない距離ではない、また裏に公園があり、環境的にも非常によいと考えているとの答弁。

委員より、桜が丘には現在何クラブあるのかとの質疑に、執行部は、10クラブであるとの答弁。

委員より、クラブの事業者が塾等の習い事を施設内ですることは法的に問題ないのかとの質疑に、執行部は、環境整備事業を使って整備するので、施設内で塾等をすることはできないとの答弁。

委員より、児童福祉費の国庫支出金返還金1,555万4,000円のうち、放課後児童クラブ分は幾らになるのかとの質疑に、執行部は、244万6,000円であるとの答弁。

委員より、予防費のコロナワクチン接種のための会計年度任用職員報酬について説明をとの質疑に、執行部は、計画に未定な部分があるが、看護師、保健師、事務職を想定しており、40日間で積算しているとの答弁。

委員より、小学校費、一般管理事業で学級増に伴う予算が計上されているが、教職員の配置は県費と市費どちらなのかとの質疑に、執行部は、教員の配置費用については県費での対応になるとの答弁。

委員より、特別支援学級の教員はそれなりの資格、経験を持った職員が入るのが本来だと思うが、どうなっているのかとの質疑に、執行部は、特別支援学級に配属する担任は特別支援教育の免許を持っているのが原則だが、全員が持っているわけではない、そのため県教委も免許取得を促進しており、市教育委員会も2年ほどかけて2種免許を取得させている、結果的に経

験値が高い教員並びにこれから免許を取得する者を配置している状況であるとの答弁。

委員より、今回は今ある教室で対応するということだが、今後どのようにするのかとの質疑に、執行部は、新たに教室をつくることは今のところ予定していない、今後児童生徒数が増えるようであれば検討する必要があると思っているとの答弁。

他に質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

委員長報告が終わりました。

これから厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（鼻岡美保君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 放課後児童クラブについて質問します。

この運営母体なんですけれども、個人なのかNPO法人とかそういう法人組織なのかお聞きしたいんです。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 聞いておりますのは、個人経営というふうには聞いておりますが、母体自体は会社組織であるというふうには聞いております。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員、よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 福祉施設なんかで補助金をもらってある程度して、採算が取れなくなったら撤退するとかということが相次いでるんですけれども、この運営母体はそういう懸念について検討されたのかどうかお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 執行部から説明いただいたのは、当初20人規模で2クラブずつ、20人ずつで2クラブをするということで、将来的には40人まで増やしたいということを考えているというお話を聞いておりますので、将来的にはもっと増やしていくという考えなので、撤退とかという話は聞いておりません。

以上です。

○委員（鼻岡美保君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 分かりました。

次の質問をしてもよろしいですか。

○委員長（松田 勲君） はい、よろしい。

○委員（鼻岡美保君） 特別支援学級の教員のことについてなんですけれども、現在は2種免許を取得していない職員がいるということですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 現在持っていらっしゃらない方もいらっしゃるとは聞いております。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 教員資格は持っているということですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） そうでございます。

○委員（佐々木雄司君） 委員会の委員長報告に対しての質疑だから、執行部に尋ねるような内容になりようじゃせんか。求めるんなら求めてもろうてもいいけど。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

委員会の中での話で答える範囲でお願いします。

答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 今言われた鼻岡委員の質問ですけど、報告の文書の中にありますように、特別支援教育の免許を持っているのが原則だが、全員が持っているわけではないということなので、教員の免許は持っているが、その免許を持っていない、その免許を持っていただくために2年かけて2種免許を取得していただくというふうになっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） はい、分かりました。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 特別支援学級の質問がございましたので、私もそちらのほうの質問を考えておりましたけれども、要するに今特別支援学級というのが本当に数多く増えております。そうした中で、支援学級の教員、先ほど資格があるないという御質問もあったんですが、具体的に支援学級の教員が不足しているような、十分教員体制は取れているのかというような議論が委員会の中でありましたか。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） その部分については、議論はしておりません。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席にお戻りください。

それでは続きまして、産業建設分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動をお願いいたします。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金谷委員長。

○委員（金谷文則君） それでは、予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を行います。

予算審査特別委員会産業建設分科会に分担されました議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）のうち、産業建設常任委員会所管部分について、審査のため産業建設分科会を開催いたしました。特に質疑はなく、審査を終了いたしました。

以上をもちまして予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、委員長報告が終わりましたので、これから産業建設分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

ありませんね。



〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を終わります。  
正副委員長は自席にお戻りください。

これで議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）の質疑を終わります。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について採決をしたいと思います。

議第66号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について、これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。起立多数でございます。したがって、議第66号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで全て終了いたします。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算審査特別委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日は、大変お忙しい中、予算審査特別委員会をお開きいただきまして、議第66号の令和3年度赤磐市一般会計補正予算、慎重に御審査をいただきました。大変ありがとうございます。この12月議会、最終日、本会議が残すところとなりましたが、最終まで御審議をいただきますことをお願い申し上げまして、本日の閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございました。

それでは、これで予算審査特別委員会を閉会いたします。

皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時23分 閉会